

認知機能障害とは

認知機能とは、理解力、判断力、計算力、見当識、実行機能などの能力を指します。記憶も、認知機能のひとつですが、この記憶は、私たちが生活の中で得てきた知識や経験と言い換えることができます。

認知機能が損なわれると、「コップと茶碗の区別ができない」「足し算ができない」「時間や場所の見当がつかない」「手順を踏む作業ができない」といった症状が現れます。これらの症状によって、買い物をするとか、料理をするとといった、日常生活を送ることや、周囲の人と関係を築いたり、社会活動を行うことに支障が出てきます。認知症は、もの忘れだけではなく、認知機能障害によって、私たちの生活が損なわれる病気なのです。

認知機能 障害とは



認知機能の低下

認知機能

- 理解力
- 判断力
- 計算力
- 見当識
- 実行機能

日常生活に支障をきたす

以前と比べてチェックリストのような変化が続くときは、すぐに最寄りの地域包括支援センター（地域によって名前が違うことがあります）や適切な医療機関に相談してみましょう。

もしかしたら認知症の初期かもしれません。でも心配はいりません。早く診断できれば、あなた自身やご家族が認知症についてきちんと理解する時間をもて、十分に対応できます。原因によっては治療法があります。

チェックリスト

- 同じことを何度も言うとか聞くと周りから言われることが多い
- いつも捜し物をしていることが多い
- 財布や通帳など大切なものがなくなる
- 約束を忘れてたり、待ち合わせの場所に行き着けなかった
- 片付けや料理、運転などが以前のようにうまくできなくなった
- テレビのドラマは筋を追うのが面倒くさい
- 身だしなみを整えることが億劫になり、構わなくなった
- 趣味や好きなことに興味がなくなった
- 何をするのも億劫になった